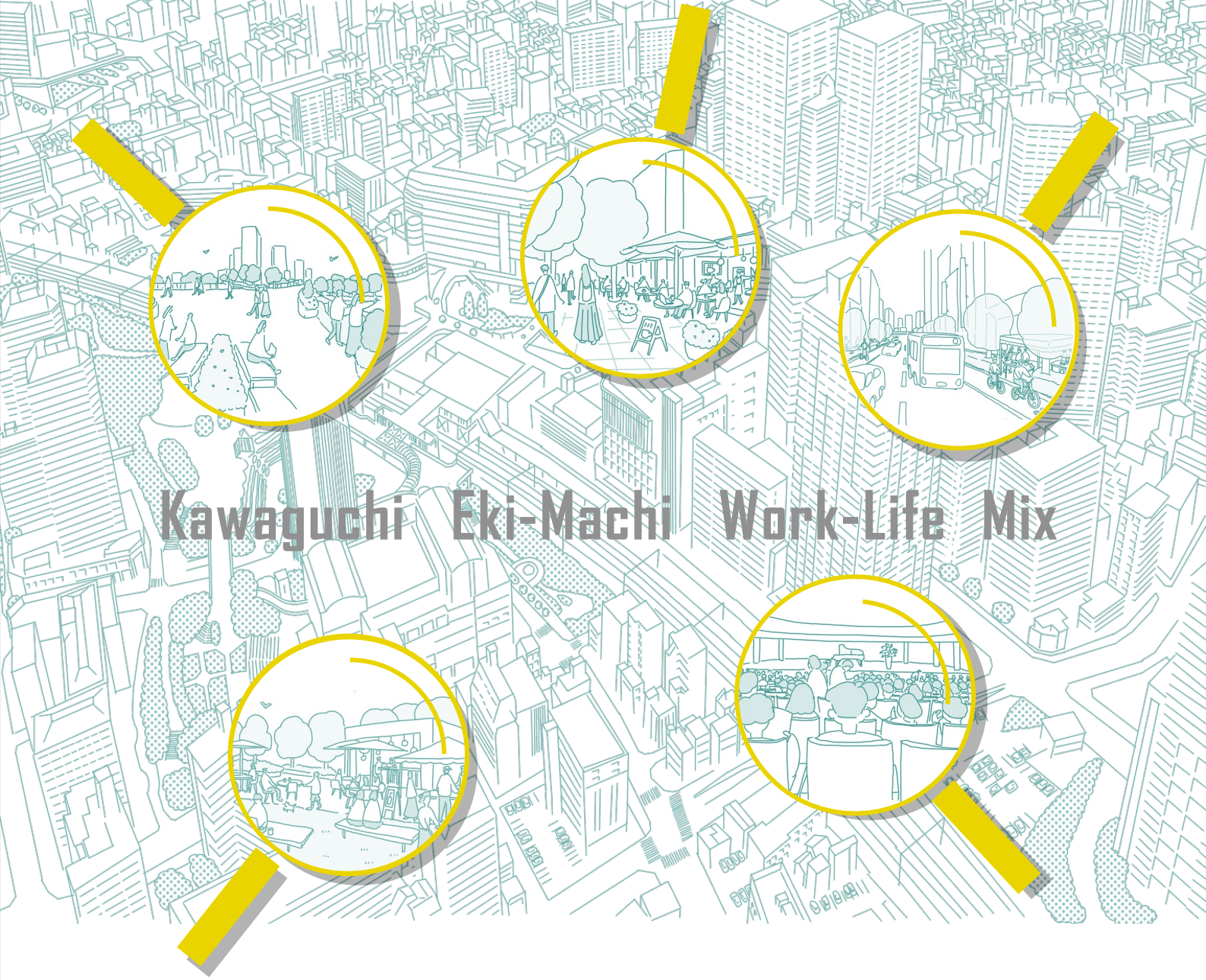


川口駅周辺まちづくりビジョン

～住みやすいまちを超えて～

令和４年(2022年)３月　川口市

1 はじめに

（1）まちの成り立ち

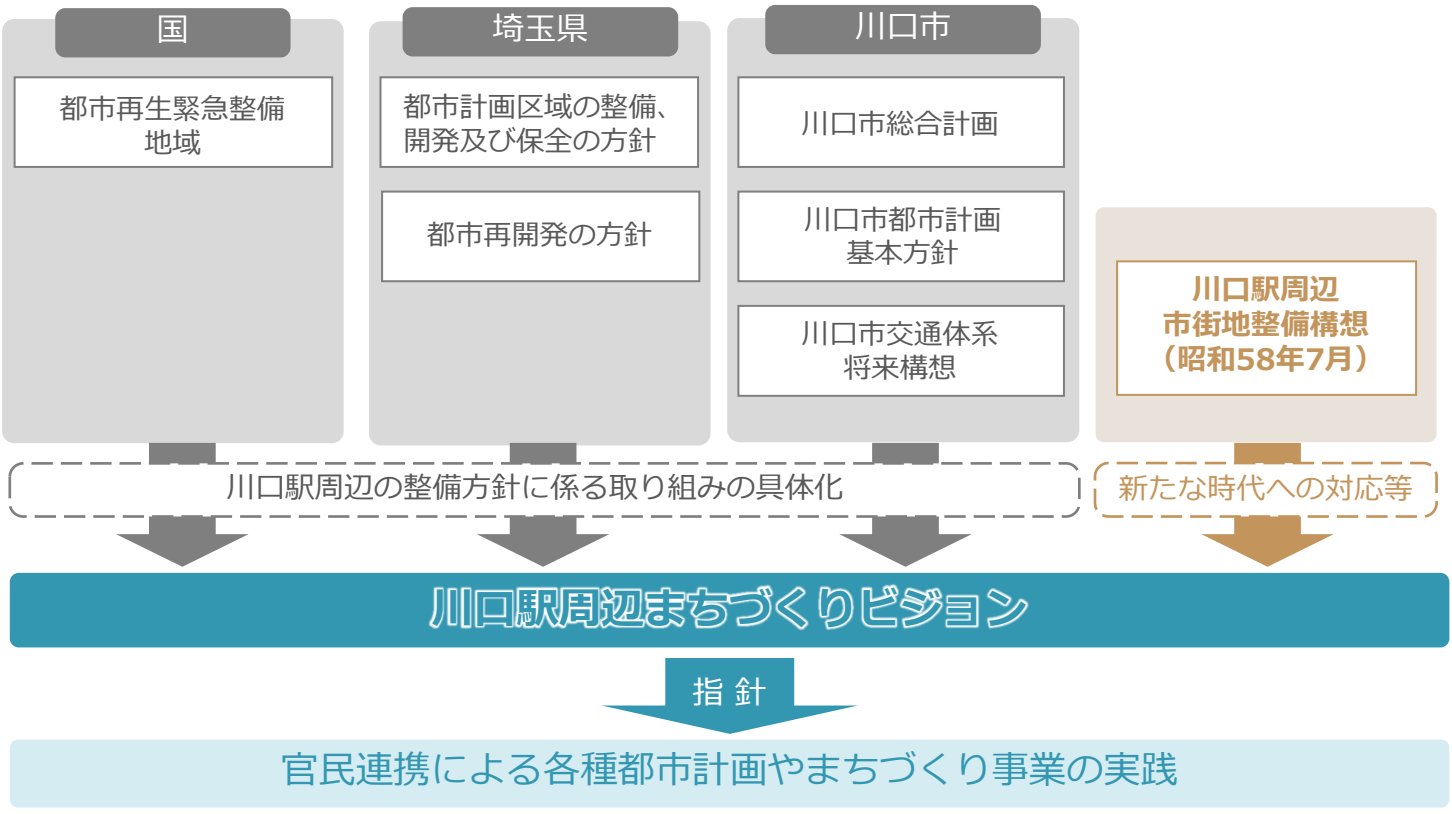
- 江戸時代前期に**本市内を南北に貫く日光御成道が整備され、川口宿や鳩ヶ谷宿は宿駅**として発展しました。
- 江戸時代中期には、河川改修や見沼代用水路の開削による舟運を利用した商品流通が発達し、川口の産業の礎となる**鋳物・植木業等が興りました**。
- 明治末期に川口町駅（現在の川口駅）や新荒川大橋ができると販路がさらに拡大し、その後も鋳物産業等は高度経済成長期をピークに飛躍的発展を遂げました。昭和39年（1964年）東京オリンピックの聖火台は有名です。
- オイルショック以降、鋳物工場は移転・廃業が相次ぎ、**川口駅周辺は東京一極集中による人口増加の受け皿として住宅を中心とした都市化が急速に進んでいます。**

（2）ビジョンの策定について

- 本市では、**川口駅周辺の整備**について、市民生活の核としてあるべき土地利用の姿、市街地の利便性・安全性の向上のために必要な都市施設の配置、都市活性化の手段等の指針として、**昭和58年（1983年）7月に、「川口駅周辺市街地整備構想」**を策定・公表しました。
- この構想に基づき、
  ①東口における再開発による大型商業施設の整備や既存商店街の改善
  ②西口における公園を含む大規模な公共空間やリリア等の文化施設の整備、公園に接する地区における再開発等による建物の不燃化
  ③東口と西口を結ぶ東西連絡避難路としての歩行者デッキの整備、駅周辺の交通渋滞の解消に向けた東口と西口を環状に結ぶ道路（環状道路）の整備
  等、**さまざまな事業**が行われ、現在の**本市の表玄関である中心市街地としての礎**が築かれました。
- 一方で、構想の公表から約40年が経過しており、国全体としては既に人口減少局面を迎え、昨今では新型コロナウイルスの流行による暮らし方の変化等、社会情勢が変化している中、川口駅を含む川口駅周辺には**利便性・安全性等の観点からさまざまな解決すべき課題**が生じています。
- そこで、本市が「さらなる選ばれるまち」として発展するため、現状の**まちのポテンシャルの活用、社会情勢の変化及び現状の課題への対応**の観点から、既存の「川口駅周辺市街地整備構想」を更新し、川口駅を含む川口駅周辺の整備に係る新たなビジョンとして「川口駅周辺まちづくりビジョン（以下、「本ビジョン」と言う。）」を策定します。

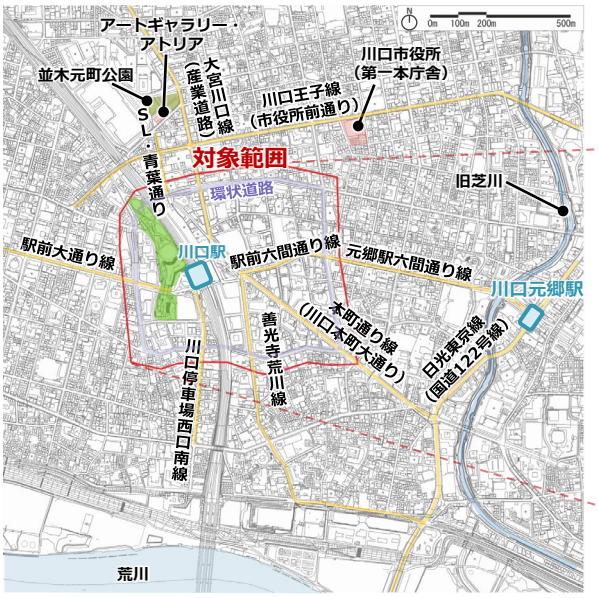
2 位置づけ

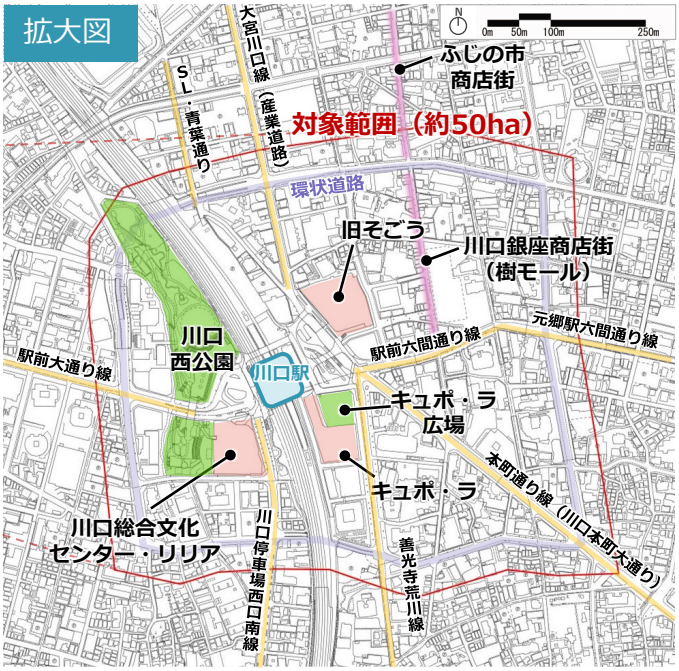
- 本ビジョンは、国の都市再生緊急整備地域や市の都市計画基本方針等の上位計画における川口駅周辺の整備方針についてその取り組みの内容を具体化するとともに、市民・民間事業者・行政等が連携して各種都市計画やまちづくり事業を実践する際の指針となるものです。



3 対象範囲

- 本ビジョンの対象は、川口駅周囲の**環状道路から約50mの範囲**（約50ha）を基本とし、その他当該範囲から接続する主要な道路等についても対象とします。





4 本ビジョンの構成

5	川口駅周辺の特長	6	社会情勢	7	川口駅周辺のポテンシャルと課題

8 将来の川口駅周辺の生活イメージ

9 当地区の目指す方向性

10 分野ごとの取組方針

1	**回遊性**	駅や各拠点が有機的に繋がったウォーカブルなまちの実現
2	**都市機能**	賑わいの再生と新たな時代に対応した都市機能の導入
3	**オープンスペース**	質が高くニューノーマルに対応した新たな価値を創造するオープンスペースの創出
4	**交通**	安全で快適な移動を支える新たな交通環境の実現
5	**都市景観・環境**	本市の表玄関にふさわしい魅力ある景観形成と持続可能で環境に配慮したまちづくりの実現
6	**防災**	帰宅困難者対策や耐震化等ハード・ソフト両面での防災力の確保

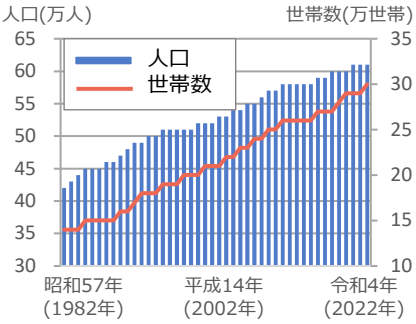
11 本ビジョンの実現に向けて

5 川口駅周辺の特長

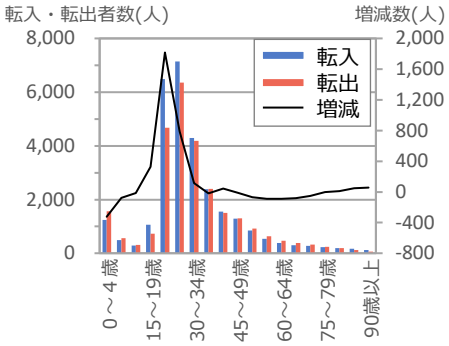
- 川口駅周辺には文化・公共施設や商業・業務施設が一定程度集積し、豊かな自然環境等も存在していることから「本当に住みやすい街大賞」において２年連続で１位に選ばれ、４年連続でランクインしています。加えて、本市は子育て・保育環境が充実し、良好な住環境が整っていることから、近年「住むまち」としての魅力が再認識され、人口の増加も続いています。
- また、本市の発展に貢献した鋳物・植木業等、歴史ある産業があることも本市の特長です。

人口の増加

- 令和４年（2022年）３月１日時点で市内人口約60.5万人、約29.6万世帯であり、特に若年世帯（20～34歳）の流入が多く、人口増加が続いています。



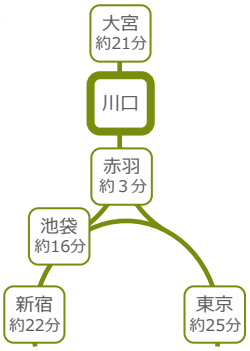
本市の人口・世帯数の推移



本市の年齢(5歳)階級別の転入者数と転出者数（令和２年（2020年））

都心へのアクセス性

- 池袋駅まで約16分、東京駅まで約25分と都心へのアクセス性が非常に優れています。
- そのため、主に住宅を中心とした開発が進んでおり、再開発の検討も複数地区で行われています。



川口駅からのアクセス

施設や自然の充実

川口駅西口

文化・公共施設の一定の集積

- 川口駅西口周辺に文化施設や緑豊かな公園等の公共施設が集積しています。

川口総合文化センター・リリア

川口西公園

川口駅東口

商業・業務施設の一定の集積

- 川口駅東口周辺に大型商業施設や商店街等の商業・業務機能が一定程度集積しています。

かわぐちキャスティ

キュポ・ラ

豊かな自然環境

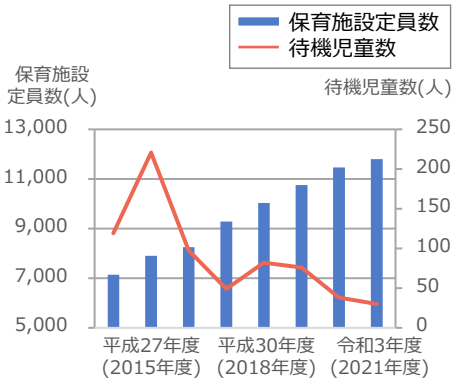
- 緑豊かな公園や荒川等が川口駅周辺に存在しています。

並木元町公園

荒川

子育て・保育環境の充実

- 保育需要等を勘案し、必要な定員を確保しています。



※保育施設定員数には幼稚園の長時間預かり保育や家庭保育室を含む

保育施設定員数と待機児童数の推移

住みやすさへの評価

- 発展性、住環境、交通の利便性、コストパフォーマンス、教育・文化環境の５つを基準とした「本当に住みやすい街大賞（関東）」（アルヒ株式会社）において、令和２年（2020年）、令和３年（2021年）と２年連続１位を受賞し、令和４年（2022年）は第２位に選ばれ、４年連続のランクインとなり、まちの魅力が再認識されつつあります。

歴史ある産業

- 江戸時代中期には、舟運を利用した商品流通が発達し、川口の産業の礎となる鋳物・植木業等が興りました。
- 明治末期に現在の川口駅や新荒川大橋ができると販路がさらに拡大し、その後も鋳物産業等は高度経済成長期をピークに飛躍的発展を遂げました。昭和39年（1964年）東京オリンピックの聖火台は有名です。

昭和39年（1964年）東京オリンピックの聖火台の同型品（鋳物）

市営植物取引センター（安行）でのせり

6 社会情勢

- 世界的な社会情勢の変化を受けて、まちづくりに求められる視点も変化しています。また、まちづくりにおける課題の解決に情報通信技術を活用する発想も必要です。

新型コロナウイルス流行を経た社会の変化

- 新型コロナウイルスの流行を契機として、感染症対策や、その他ワークライフバランス等の観点から、働き方、暮らし方が変化していくと思われます。
- そのため、職住近接に対応し、さまざまなニーズに柔軟に対応できるような都市機能が必要になると思われます。

まちづくりに関連する主な視点・キーワード

- 働き方・暮らし方の多様化に対応する都市機能の充実
- 多様なオープンスペースの活用
- 多様な移動手段の確保
- 過密対策に資するデータ・情報通信技術の活用

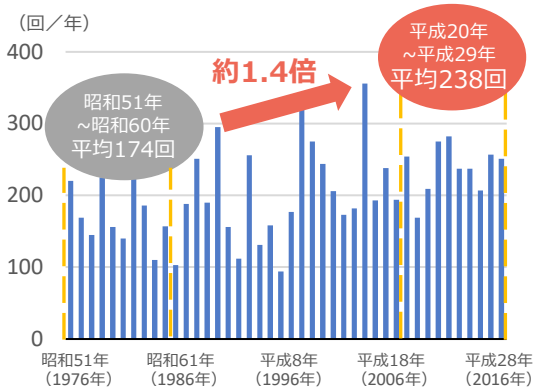
多様なオープンスペースの活用イメージ
出典：国土交通省（官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集）

災害の頻発化・激甚化

- 近年、世界中で気象災害が頻発しており、地球温暖化に伴う気候変動により、さらなる災害の頻発化、激甚化の可能性が指摘されています。

まちづくりに関連する主な視点・キーワード

- 各種災害に備えた防災力のさらなる向上
- リアルタイムでの情報発信等、高度な防災情報の提供による被害の軽減



1時間降雨量50mm以上の年間発生回数
（アメダス1,000地点あたり）
出典：国土交通省「第３回大規模広域豪雨を踏まえた水災害対策検討小委員会資料」をもとに作成

持続可能な開発目標（SDGs）

- 2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標としてSDGsが掲げられており、まちづくりにおいてもSDGsに取り組むことが求められています。

まちづくりに関連する主な視点・キーワード

- 全ての人々への持続可能な輸送システムへのアクセスの提供
- 生涯学習の機会の促進
- 再生可能エネルギーの割合の大幅な拡大
- 都市の一人当たりの環境上の悪影響の軽減
- あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

人生100年時代

- 寿命が今後伸びていくにあたって、「教育・仕事・老後」という３ステージではなく、もっと多様でさまざまなステージのある人生を送るようになると言われています。

まちづくりに関連する主な視点・キーワード

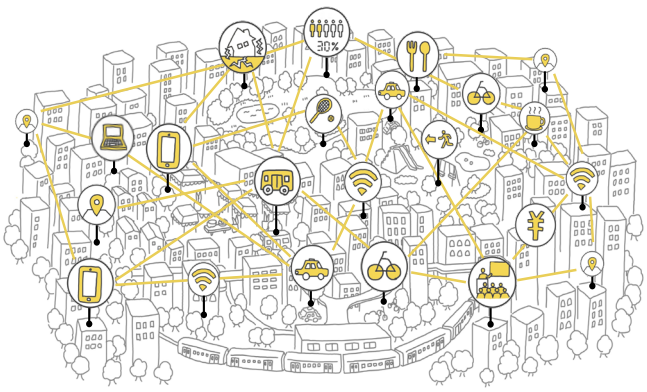
- 長い人生をより安心して、健康で豊かに過ごせる
- 高齢者から若者まで全ての国民に活躍の場がある
- 生涯にわたって学び直すことができる

情報通信技術の活用

- 市民生活の質、都市活動の効率性等の向上のため、DX（Digital Transformation）の観点をまちづくりに取り入れる発想が必要です。
- 情報通信技術により様々なサービスが繋がったり、データに基づく効果的なまちづくりを行ったりすることで、より暮らしやすいまちが実現します。

まちづくりに関連する主な視点・キーワード

- 都市内の情報の収集・分析による都市空間の有効的・効率的な活用
- 情報通信技術の活用によるスマートな交通サービスの実現
- リアルタイムでの情報発信等、高度な防災情報の提供による被害の軽減



7 川口駅周辺のポテンシャルと課題

● 川口駅周辺において特に着目すべき６つの重点項目を設定し、それぞれの項目についてのポテンシャルと課題を整理します。

1．回遊性

移動の円滑性・快適性の不足

【川口駅駅前】

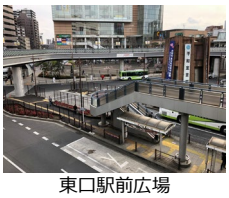
ペデストリアンデッキ

- 広幅員で、川口駅の東西をつなぐ役割を持つ
- バリアフリー経路が限定的である
- 雨に濡れない経路の整備が不十分である
- 単調で、歩きたくなる工夫が乏しい
- 多目的文化芸術施設（候補地含む）への移動を促す回遊空間の整備が不足している

東西連絡通路

東西連絡通路

- 無機質で開放感のない空間となっている
- 駅東西口を往来する経路が限定的である
- 駅舎内連絡通路の賑わいが不足している


東口駅前広場

【東口駅前広場】

- バス停が分散している
- バリアフリー経路が限定的である

【川口駅東口周辺】

栄町3-1地区

- 駅とアトリア方面をつなぐ重要な位置にあるが暫定的な土地利用が続いている

SL・青葉通り

【既存商店街周辺】

商店街エリア

- 賑わいがある
- 建物と道路が一体となって賑わいを創出する仕掛けが不足している
- 舗装が老朽化し凸凹していて歩きにくい

【並木元町公園周辺】

SL・青葉通り

- 特徴あるストリートファニチャーがある
- 人通りが多い
- 駅に近い部分において歩道の幅員が不足している

川口元郷駅

【駅前六間通り線・元郷駅六間通り線】

- 川口駅と川口元郷駅をつなぐ都市軸として歩道の幅員が不足している

【善光寺荒川線】

- 気軽に休憩できる空間が不足している

善光寺荒川線

【全域】

- 人の移動や活動状況のビッグデータ等が未活用である
- 各拠点施設及び川口元郷駅を回遊する環境が整っていない
- 無電柱化がされておらず歩道の有効幅員が減少している
- 緑やオープンスペースが少ない

2．都市機能

賑わいの低下と多様な都市機能の不足

【川口駅駅前・川口駅東口周辺】

- 駅利用者の需要に対する駅機能が不足している
- コロナ禍における多様な働き方を支える機能が不足している
- 鉄道に乗る目的以外の利用が少ない

川口駅東口周辺

栄町3-1地区

- 駅とアトリア方面をつなぐ重要な位置にある
- 駅前の顔となる空間だが暫定的な土地利用が続いている

栄町3-1地区

旧そごう

- 駅と樹モール方面をつなぐ重要な位置にある
- 2021年に閉店したため駅前の賑わいが低下し、来街者が減少する恐れがある
- 駅前で贈答品を買う場所がない

旧そごう

【川口駅西口周辺】

川口西公園

- 駅前にあり利便性が高い
- 文化施設が整備されている一方で、十分な連携が図られていない
- 多様な活動を誘発する仕掛けが不足している

川口西公園

【並木元町公園周辺】

- 多様な価値観を共有するアート施設がある
- 親水空間等が整備されたゆとりある空間がある

【全域】

- 既存施設の老朽化が見られ、都市機能の更新が必要である
- 市民文化活動の場が不足している懸念がある
- 柔軟な働き方を支える機能が不足している可能性がある
- 市民が所有している芸術文化作品を展示する場が不足している

並木元町公園

5．都市景観・環境

市の玄関口としての魅力や環境への配慮の不足

【川口駅東口周辺】

- 連続した緑化空間が不足している

栄町3-1地区

- 暫定的な土地利用かつ派手な看板等により良好な景観形成が阻害されている
- ランドマークとなる景観がない

栄町3-1地区

【既存商店街周辺】

商店街エリア

- 雑多な景観であり、沿道の賑わいが不足している
- 緑やオープンスペースが少ない

【全域】

- 無電柱化がされておらず景観が阻害されている
- 緑やオープンスペースが少ない
- 環境負荷低減に向けた取り組みが不十分である

川口駅東口周辺

6．防　災

駅前拠点としての防災力不足

【川口駅駅前】

- 帰宅困難者受入対策が不十分である

【善光寺荒川線】

- 荒川河川敷は広域避難場所に指定されているが、川口駅周辺からの避難経路が一部未整備となっている

善光寺荒川線

【緊急輸送道路沿道】

本町通り線・大宮川口線

- 緊急輸送道路閉塞建物があり、災害時の応急活動等に影響を与える可能性がある

【全域】

- 無電柱化が部分的にされておらず災害時等に電柱倒壊、電線垂れ下がりによる交通障害等が発生する可能性がある
- 老朽化した建物や不燃化されていない建築物が点在している
- 効果的な防災力向上に向けた情報通信技術が未活用である

本町通り線

※ マークが付いているものがポテンシャルで、それ以外が課題です。

3．オープンスペース

オープンスペースの活気不足

【川口駅東口周辺】

キュポ・ラ広場

- 駅前にある大規模な広場である
- イベント時は賑わっている
- 滞在を促す空間が不足している

キュポ・ラ広場

【川口駅西口周辺】

川口西公園

- 希少な駅前大規模公園である
- イベント時は賑わっている
- 多様な活動を誘発する仕掛けが不足している

川口西公園

【既存商店街周辺】

栄町3-11地区

- 大規模な空地がある

商店街エリア

- 緑やオープンスペースが少ない
- まちなかに市民活動の場が不足している可能性がある
- 舗装が老朽化し凸凹していて歩きにくい

栄町3-11地区

【並木元町公園周辺】

- 親水空間等が整備されたゆとりある空間がある

【全域】

- 緑やオープンスペースが少ない
- 訪れたくなる魅力的な空間が不足している
- 柔軟な働き方を支える機能が不足している可能性がある
- まちづくり活動を発展させるエリアマネジメント体制が未構築である

既存商店街周辺

4．交　通

鉄道機能・交通結節点機能の不足

【川口駅駅前】

川口駅

- コロナ禍で直近の鉄道利用者は減少しているものの、今後駅周辺の再開発により人口増加が予想される
- 乗入れ路線が1つしかなく、電車遅延時の駅への入場規制によりデッキ上に多くの人が溢れる状況である

川口駅

【東口駅前広場】

- バリアフリー経路が限定的である
- バス停が分散していてわかりにくい
- 座ってバスを待つ場所がない
- 交通結節点として各施設への案内が不足している

東口駅前地下駐輪場

- 稼働率が高い
- スロープの勾配がきつく上り下りが不便である
- 老朽化が進んでおり暗いため心理的に不安感がある

東口駅前広場

【川口駅東口周辺】

栄町3-1地区

- 駅とアトリア方面をつなぐ重要な位置にある
- 駅前の顔となる空間だが暫定的な土地利用が続いている

【駅前六間通り線・元郷駅六間通り線】

- 災害発生時等の電車遅延時に多くの歩行者が往来するが、それに対応した十分な歩道の幅員が不足している
- 自転車レーンや新たなモビリティへの対応が不十分である

地下駐輪場

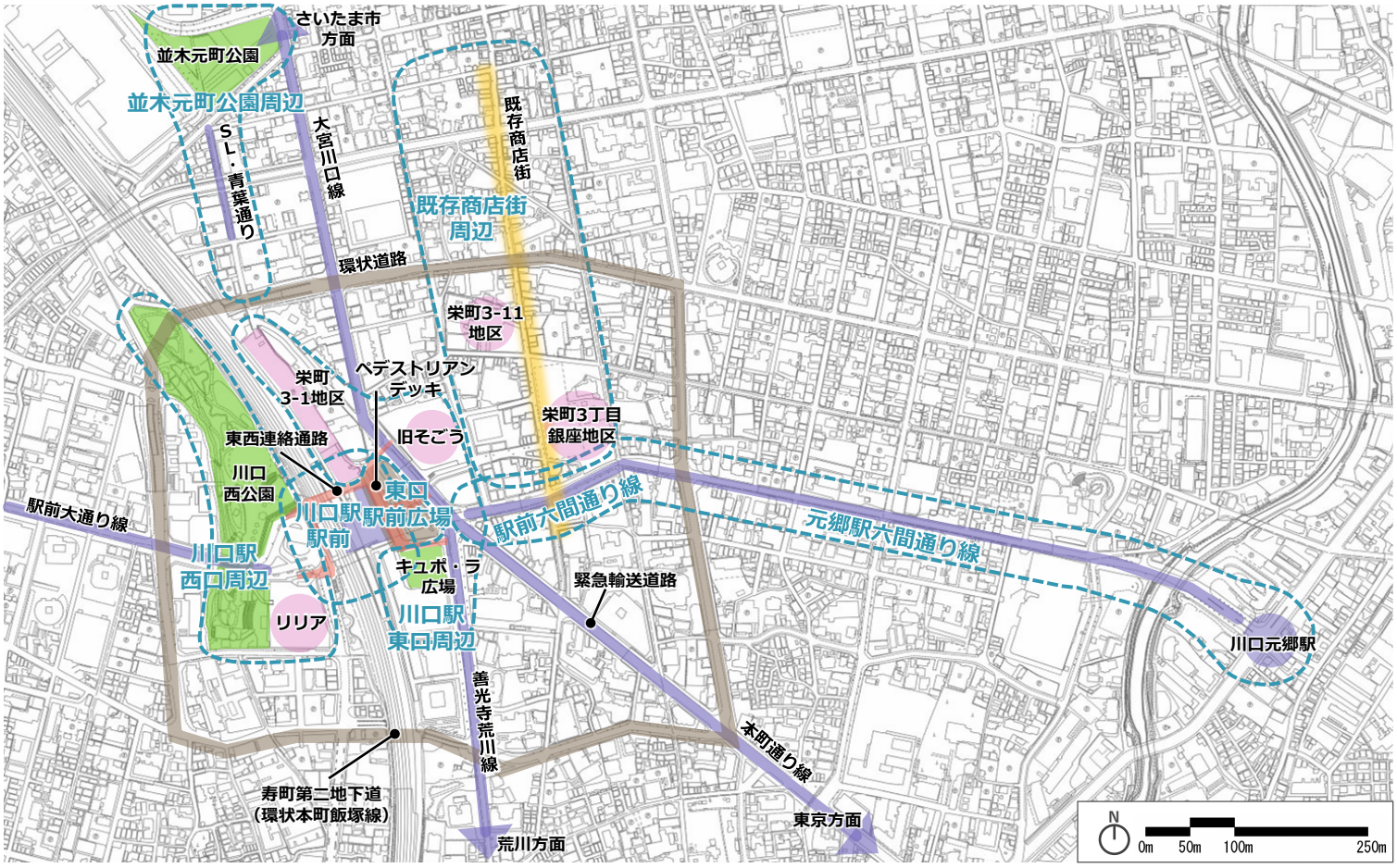
【都市計画道路】

- 寿町第二地下道（環状本町飯塚線）等の未整備による交通渋滞が発生している

【全域】

- 無電柱化がされておらず歩道の有効幅員が減少している
- 駐車場が計画的に配置されていない

栄町3-1地区



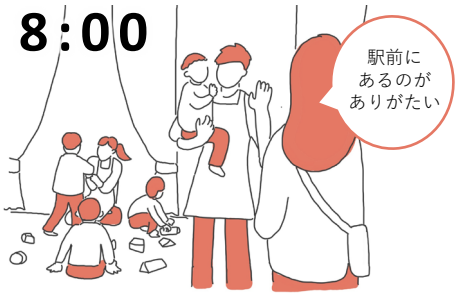
8 将来の川口駅周辺の生活イメージ

- 今後の川口駅周辺のあり方を考えるにあたり、「こういう暮らしができたらいいな」「こういう楽しみ方ができるといいな」といった実現したいまちのイメージとして、将来の川口駅周辺におけるさまざまな人たちのある一日のシーンを想定しました。

①仕事も子育ても頑張る女性（35歳）

- ２人目の出産を機に、家族で川口市に引っ越してきた。
- 現在は時短勤務中。
- 子育てと自分のキャリア形成は両立したいと考えている。

駅の方へ自転車で移動。



駅近の子育て支援施設に次男を預ける。

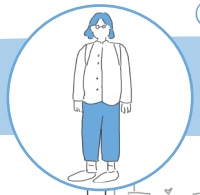
川口西公園に最近できたカフェで
コーヒーを飲みつつweb会議に参加。

来客対応で品川のオフィスへ。
移動するため川口駅へ。
川口の立地なのでこんな働き方ができる。

打合せが終わり退勤。川口に戻る。
長男を塾に行かせつつ、今日中の仕事を仕上げる。

次男を迎えに行き、駅前のスーパーで食材を購入。
急に雨が降ってきたので、今日はバスで帰宅。
バス停まで屋根もあるので、乗り場まで濡れずに行けた。

②ものづくりを愛するクリエイター（29歳）

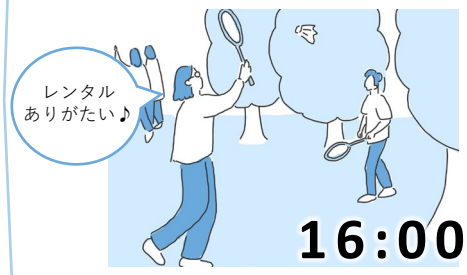


- 出身は埼玉北部。
- １年前に川口市に引っ越してきた。最近できた川口駅近のシェアハウスに住んでいる。
- ものづくりとビジネスのつながりを模索中。

午前は、六本木で打合せ。
都内への移動もしやすいので
余裕をもって会議に参加できた。

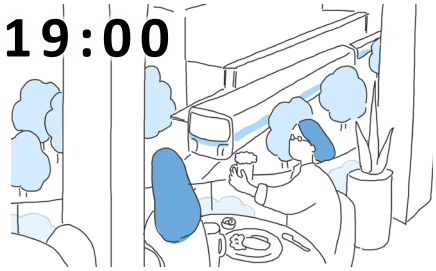
打合せが終わり川口に戻ってきた。
最近できたコワーキングスペースで作業。
多目的文化芸術施設帰りの若手クリエイターと出会って、鋳物産業と多目的文化芸術施設の連携について話が進んだ。

気分転換したくなり、友人と思い付きで
公園へ行くことに。
アプリで予約した新モビリティでらくらく移動。



軽くスポーツをして汗を流す。
最近スポーツ用品貸出が始まったこともあり
公園に行く機会が増えたな。
公園で仕事をするのも良さそうだ。

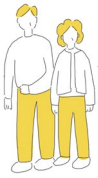
急ぎの対応依頼の連絡があったので
駅直結のシェアオフィスに駆け込み、
データを送信。
駅周辺に色んな機能があって便利。



仕事が終わり帰ってきた彼女と合流。
駅近にできたビアガーデンで電車を眺めながら、
ビールを一杯。

働きやすいし、暮らしやすい!!色々なことができるから教育にも良いまちだと思う。

色々な場所で働ける。交流も生まれやすくて、このまちで面白いことが始められそう！



趣味を楽しめる場所や機会がたくさんあって、毎日を健康で豊かに過ごせている。

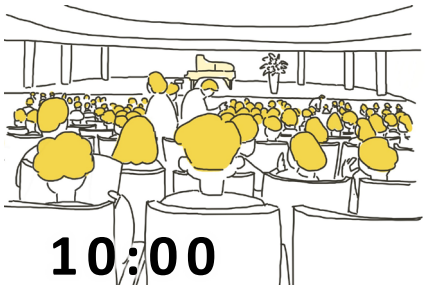
健康にも教育にも良いまちなんじゃないかな。都心からも近いし引っ越そうかなあ。

③セカンドライフを楽しむ男性（70歳）

- 子どものころから川口市に住んでいる。子どもたちは皆独立し、現在は妻と二人暮らし。
- 昨年、長年勤めた都内の会社を退職。
- アートが昔から好きで、健康のためにランニングを始めた。

9:00

支度をすませて家を出発。
退職後は自転車を買うつもりだったが
乗り捨てができる**シェアサイクル**のよさに惹かれ
すっかりシェアサイクルの愛用者になった。
自転車専用レーンもあるので安心して移動できる。



10:00

朝から**リリアの演奏会**を聞きにきた。
アートも音楽も両方楽しめるまち♪

12:00

多目的文化芸術施設内のレストランでランチ。
月１回の贅沢。

14:00

ふむふむ
今度は妻と
ピクニックだ

川口西公園へ。
最近改修したからか、**居心地の良い空間**に。
いろんな年齢層の人がいるなあ。

新たな
趣味候補
発見！

14:30

川口西公園の芝生の広場では
太極拳のクラスが行われていた！
近くに住む河口さんもいるじゃないか～！
今度参加したいな。

17:00

下校途中の子どもとすれ違いながら
荒川沿いのランニング。
退職してからの体力づくりのための日課。
歩道が広く走りやすいし、夕日の眺めが最高だ。

④埼玉県央に住むファミリー（30代夫婦・子ども2人）

- 夫の都内への通勤時間の長さから、引っ越しを考えている。
- 教育意識が高く、引越し先は子どもの教育環境も重視して検討中。
- 下の子はまだ小さくベビーカー利用。

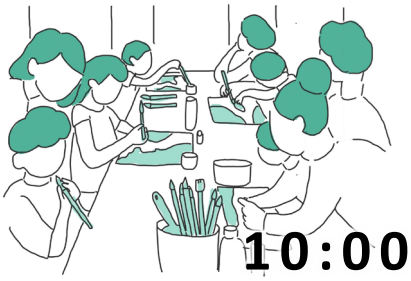
9:30

多目的文化芸術施設の子ども参加型ワークショップを目当てに川口初上陸。
エレベーター経路やおむつ替え施設の場所はアプリでもデジタルサイネージでも見られる。
小さな子どもが二人いても安心。

9:45

午後
行って
みようか！

駅から多目的文化芸術施設までの経路は、ちょっとしたサイン等も世界観があって子どももワクワク！
ワークショップの後は帰るつもりだったけど
展示をやっているようだ。

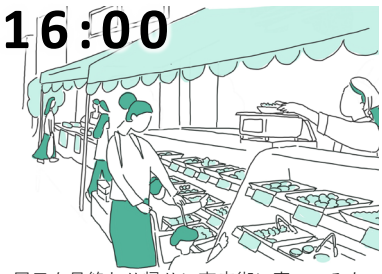


10:00

多目的文化芸術施設のワークショップに参加。
こういう施設ってハードルが高いと思っていたが
子どもの創造性を育てるのにもとても
よさそうだ。日常的に訪れたい！

14:00

子どもも行きたいというので、
お昼ごはんの後、**屋外展示**をみにきた。
どうやら川口の鋳物を使っているらしい。
歴史や産業も文化も盛んなまちなんだな。



16:00

展示を見終わり帰りに商店街に寄ってみた。
ここで夕飯用にお惣菜を買って帰ろう。
人と人との触れ合いを感じる商店街が
あるのもいいな。

駅前にこんなに
緑があるまちは
なかなかない

17:00

車窓から緑や人の活動が溢れる素敵な景色が見える。
そういえば子どもを**通わせたい学校への通学もしやすい**な。
子育てがしやすいこのまちに住むのも
いいかもしれない。

9 当地区の目指す方向性

（1）まちづくりの方向性

● 川口駅周辺地区の目指すまちの方向性及びまちづくりを考える上での重視すべき視点を設定します。

目指す方向性

「住みやすいまち」を超えて、働き、憩い、文化・芸術に親しめるまちとして発展することで、「住み続けたいまち」・「さらなる選ばれるまち」へ

まちづくりの視点

まちのポテンシャルの活用
- 文化・公共施設等都市機能の充実と人口の集積
- 駅前公園等豊かな自然環境
- 良好な都心へのアクセス

社会情勢の変化への対応
- 新型コロナウイルス、災害の頻発化・激甚化、人生100年時代、SDGsへの対応
- 情報通信技術の進展

現状の課題への対応
- 回遊性、都市機能、オープンスペース、交通、都市景観・環境、防災に関する課題

（2）項目別の目標の設定

● 「目指す方向性」を実現するために「まちづくりの視点」を踏まえ、「川口駅周辺のポテンシャルと課題」において整理した６つの重点項目について目標を設定します。

1．回遊性

駅や各拠点が有機的に繋がった ウォーカブルなまちの実現

①雨に濡れずに快適に回遊できる空間の整備
②川口駅東口・西口間の回遊性の向上
③商店街と道路の一体的な利活用
④歩行者の移動の円滑化と気軽に休憩できるまちなかの緑陰空間の創出
⑤多目的文化芸術施設へ誘うまちなかの空間演出

2．都市機能

賑わいの再生と 新たな時代に対応した都市機能の導入

①多様な「働き方」や「暮らし方」を実現できる新たな都市機能の導入
②川口市の文化・芸術・産業を活かし育てるための場の創出
③生涯を通じて楽しく豊かな時間を過ごせる市民活動の場の創出
④川口駅や周辺の既存資源を活用した都市機能の充実

3．オープンスペース

質が高くニューノーマルに対応した 新たな価値を創造するオープンスペースの創出

①多様な活動を許容、誘発するためのオープンスペースの創出
②魅力的な外構・施設デザインによる訪れたくなるオープンスペースの創出
③持続的なオープンスペースの賑わい形成のためのエリアマネジメント体制の構築

4．交　通

安全で快適な移動を支える 新たな交通環境の実現

①鉄道輸送力の増強
②災害発生時等の備えとなる駅間移動の円滑化
③駅前広場の交通結節機能の向上
④MaaSの導入等スマートシティの推進による移動円滑化
⑤未整備都市計画道路の整備による交通ネットワークの形成
⑥まちづくりと連携した駐車場施策の促進

5．都市景観・環境

本市の表玄関にふさわしい魅力ある景観形成と 持続可能で環境に配慮したまちづくりの実現

①まちの顔となる駅前及び鉄道沿線の景観形成
②ゆとりとうるおいのある連続的な緑化空間の形成
③沿道の賑わいと一体となった統一感と活気のある街路景観の創出
④環境負荷低減に向けた着実な取り組みの推進

6．防　災

帰宅困難者対策や耐震化等 ハード・ソフト両面での防災力の確保

①帰宅困難者対策等の駅前拠点としての災害対応力の強化
②防災上重要な緊急輸送道路等の機能確保による広域的な災害対応力強化
③再開発事業等を契機とした不燃化・耐震化による災害に強い市街地形成
④情報通信技術等を活用した防災性の向上

10 分野ごとの取組方針

回遊性

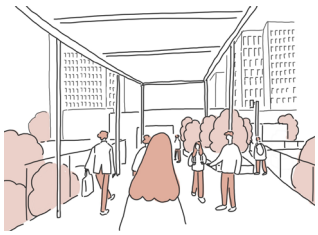
1 駅や各拠点が有機的に繋がったウォーカブルなまちの実現

● 地域が備えているポテンシャルを最大限効果的に発揮できるようにするため、駅や商店街、文化・公共施設、広場・公園等の拠点間の歩行者の移動を円滑化するとともに、魅力的な空間を創出することで、回遊性の向上を図ります。

取組方針

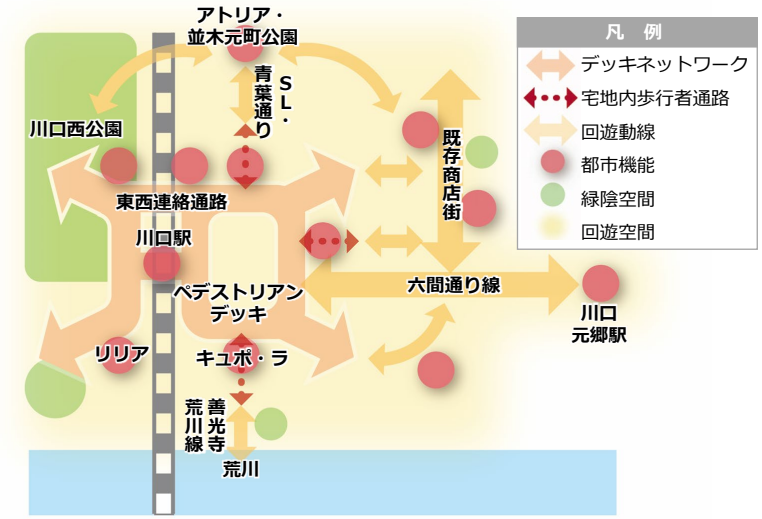
①雨に濡れずに快適に回遊できる空間の整備

• 駅を起点とする主要な歩行者動線において官民連携した屋根の整備を促進し、歩行者の移動の円滑化を図ります。



取組例

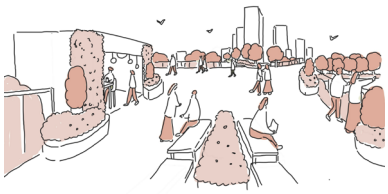
● ペデストリアンデッキ等の主要な歩行者動線における屋根の設置
● 再開発事業を契機とした主要な歩行者動線における庇の設置の促進



回遊空間形成のイメージ

②川口駅東口・西口間の回遊性の向上

• 東西連絡通路等について、「回遊したくなる」、「自然と回遊が発生する」ような空間づくりを図ります。



取組例

● 東西連絡通路の高質化（開放性の確保、ストリートファニチャーの設置）
● 駅舎内連絡通路の高質化（通路沿いにおける店舗の設置等）

③商店街と道路の一体的な利活用

• 商店街に面している道路において、テーブルやイスの設置、緑陰空間の整備等を行い、商店街と道路が一体となって、賑わいや市民活動がまちなかに滲み出す空間の創出を目指します。

取組例

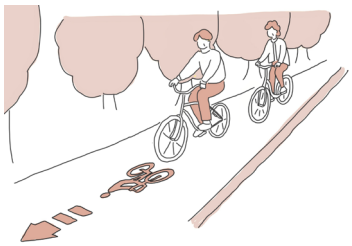
● 歩行者利便増進道路制度（ほこみち）を活用した沿道の賑わいの創出
● 占用許可手続きの円滑化や税制優遇等、各種緩和制度の活用による道路空間の活用推進
● 再開発事業等における公開空地の創出と歩道空間、滞留空間、自転車ラックスペースとしての活用
● 放置自転車に対する商店街と連携した啓発
● 舗装の再整備・高質化

④歩行者の移動の円滑化と気軽に休憩できるまちなかの緑陰空間の創出

• 六間通り線における歩行者の移動の円滑化を図ります。
• 善光寺荒川線において、回遊の合間に気軽に休憩できるまちなかの緑陰空間の整備を促進します。
• SL・青葉通りから川口駅までの経路において、歩道空間の充実を図ります。

取組例

● 街路事業等による六間通り線や善光寺荒川線の歩道拡幅、電線類地中化
● 再開発事業等における公開空地の創出と、緑陰空間やシェアサイクルポートとしての活用
● 自転車やパーソナルモビリティ等の専用レーンの整備
● 公共交通機関やパーソナルモビリティ等の新たなモビリティをワンストップで利用できる仕組みの構築



⑤多目的文化芸術施設へ誘うまちなかの空間演出

• 多目的文化芸術施設の価値や魅力をより高めるため、多目的文化芸術施設までの経路の空間演出に配慮した回遊空間の計画を推進します。

取組例

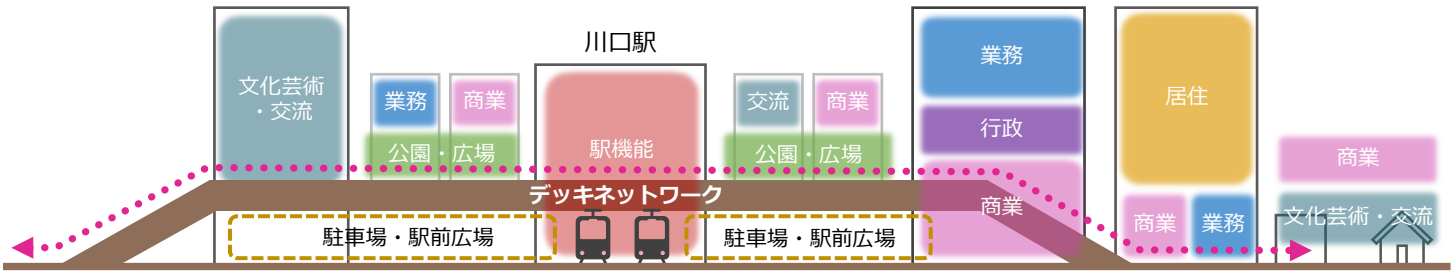
● 歩行者利便増進道路制度（ほこみち）を活用した沿道の賑わいの創出【再掲】
● 舗装の再整備・高質化【再掲】

都市機能

2 賑わいの再生と新たな時代に対応した都市機能の導入

- さらなるまちなか居住の推進に加えて、自宅や職場以外の働く場や文化・芸術に親しめる場等、多様な「働き方」や「暮らし方」を受容する都市機能の導入を図ります。
- その実現に向けて、周辺住民の多くが利用する川口駅や低未利用の公有地、公園、空き店舗といった駅周辺の既存資源を活用することで、効果的にまち全体の賑わいを創出します。

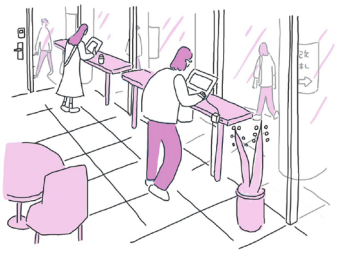
取組方針



都市機能の配置イメージ

①多様な「働き方」や「暮らし方」を実現できる新たな都市機能の導入

- 東京都等への通勤者が多いことや、新型コロナ危機を契機とした、「働き方」や「暮らし方」の変化を踏まえ、自宅や職場以外の働く場（サードプレイス）の整備や、子育て世代をサポートする機能等の整備を促進します。



取組例

- シェアオフィス等、自宅や職場以外の働く場（サードプレイス）の整備促進
- 川口西公園等の公園や広場等におけるカフェや働く場等、さまざまな活動を誘発する場の整備
- 多様な働き方の実現に寄与する子育て支援施設の導入促進
- 最寄品や贈答品の購入等、多様な目的に対応した生活利便施設機能の導入促進
- 電子商取引における商品の受取機能の導入促進

②川口市の文化・芸術・産業を活かし育てるための場の創出

- 市民が所有している芸術作品の散逸を防ぐため、寄贈を受け入れる施設の整備を図ります。
- ものづくり産業とアーティスト等の交流を促すための施設の整備を図ります。

取組例

- 既存文化・公共施設の活用や再開発事業の実施等による多目的文化芸術施設の整備
- ものづくり産業とアーティスト等をマッチングする仕組みの構築と場の整備

③生涯を通じて楽しく豊かな時間を過ごせる市民活動の場の創出

- 長寿命化や、生涯を通じた学び・余暇活動へのニーズの高まりに対応する、市民活動や表現の場となる都市機能整備を促進します。

取組例

- 市民や企業がさまざまなイベントや事業に利用できる文化・芸術・コンベンションホール等を兼ね備えた多目的な施設の整備
- 川口西公園等の公園や広場等におけるカフェや働く場等、さまざまな活動を誘発する場の整備【再掲】

④川口駅や周辺の既存資源を活用した都市機能の充実

- 新たな都市機能の導入に向けて、周辺住民の多くが利用する川口駅や、低未利用の公有地、公園、空き店舗といった駅周辺の既存資源の活用を図ります。

取組例

- 川口駅の機能の充実
- 川口西公園等の公園や広場等におけるカフェや働く場等、さまざまな活動を誘発する場の整備促進【再掲】
- 低未利用の公有地等における再開発事業の実施によるまちなか居住の推進や都市機能の導入
- 賑わい再生に向けた旧そごうの利活用

オープンスペース

3 質が高くニューノーマルに対応した新たな価値を創造するオープンスペースの創出

- 新型コロナウイルスの感染拡大により、従来のオープンスペースの役割を超えた屋外活動へのニーズが高まっていることを踏まえ、働く、食事するといった日常的な活動から、スポーツ、交流活動等まで、さまざまな活動が誘発される質の高いオープンスペースの創出を図ります。
- その実現に当たっては既存の公園や低未利用地等、都市の資源を最大限活用します。

取組方針

①多様な活動を許容、誘発するためのオープンスペースの創出

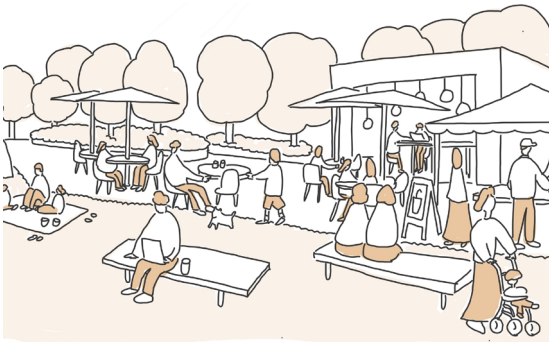
- 多様な活動を行える設えのオープンスペースを整備します。
- 試験的取り組みを通じた段階的な整備や、アンケートやワークショップの実施による市民利用ニーズの把握等を行いながら、費用対効果の高い空間整備を実現します。
- Park-PFI制度等、民間のノウハウや活力を活用しながら、オープンスペースの賑わいの持続や適切な維持管理方法についても検討していきます。

②魅力的な外構・施設デザインによる訪れたくなるオープンスペースの創出

- 広場表層の高質化や芝生の採用、デザイン性の高いストリートファニチャーの設置等によって、周辺住民だけでなく、周辺駅や周辺市からも訪れたくなるような魅力的なオープンスペースの整備を推進します。

取組例（①②共通）

- 川口西公園等の公園や広場等におけるカフェや働く場等、さまざまな活動を誘発する場の整備【再掲】
- Park-PFI等の民間活力を活かした川口西公園の改修、維持管理及び運営の実施
- キュポ・ラ広場におけるストリートファニチャー等の試験的設置
- 再開発事業等における広場や歩行者空間の創出【再掲】
- 道路や公園、低未利用地等を活用した緑陰空間の創出【再掲】



③持続的なオープンスペースの賑わい形成のためのエリアマネジメント体制の構築

- 持続的なオープンスペースの賑わい形成のためには定期的なイベントの実施、社会情勢やニーズの変化に応じたリノベーション等、継続的な取り組みが重要です。
- そのため、事業収益をもとにさらにまちづくり活動を発展させるエリアマネジメント組織等、自走していく組織・仕組みづくりを推進します。

取組例

- 再開発事業に合わせた、自立的なエリアマネジメント組織の立ち上げ
- Park-PFI等の民間活力を活かした川口西公園の改修、維持管理及び運営の実施【再掲】
- キュポ・ラ広場におけるストリートファニチャー等の試験的設置【再掲】

交通

4 安全で快適な移動を支える新たな交通環境の実現

- 今後の駅周辺の人口増加に伴う川口駅の利用者数の増加の可能性を踏まえ、需要に対応した鉄道輸送力の増強を図ります。
- 交通結節点としてバリアフリー化を含め円滑な交通機関の乗り継ぎ環境の実現を図ります。
- 駅前の渋滞の軽減等の観点から、道路や駐車場の整備・改善を図ります。

取組方針

①鉄道輸送力の増強

- 今後の駅周辺の人口増加に伴う川口駅の利用者数の増加の可能性や、電車遅延時等にデッキ上に多くの人が溢れている状況を踏まえ、需要にふさわしい鉄道輸送力の強化を図ります。

取組例

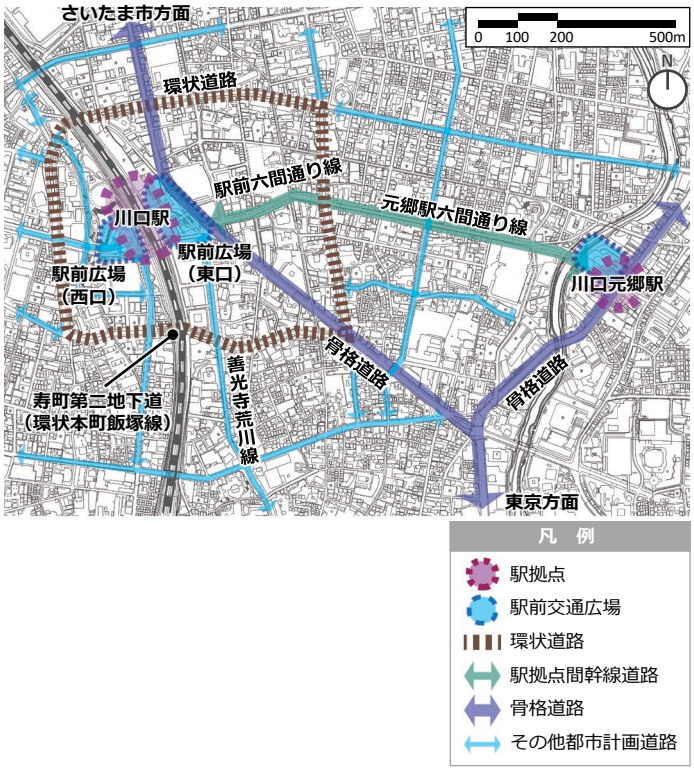
- 中距離電車の停車のためのホームの増設

②災害発生時等の備えとなる駅間移動の円滑化

- 災害発生時等の電車遅延時でも鉄道利用ができるよう、川口駅と川口元郷駅間の移動の円滑化を図ります。

取組例

- 街路事業等による六間通り線の歩道拡幅、電線類地中化【再掲】
- 六間通り線における自転車やパーソナルモビリティ等の新たなモビリティの専用レーンの整備【再掲】



③駅前広場の交通結節機能の向上

- さまざまな交通手段への乗り継ぎの円滑化を目指し、バリアフリー化を含め駅前広場の機能向上を図ります。
- 各交通機関の乗り場や各施設、イベント会場等への分かりやすいサイン計画の導入を図ります。

取組例

- ペデストリアンデッキからバス停へのエレベーター等の増設、再配置によるバス停の集約化
- 地下駐輪場における構造躯体の健全度調査とそれを踏まえた改良
- 低未利用地や地下空間の活用、土地交換等による駅前広場の拡張
- ユニバーサルデザインに配慮したサイン計画の導入

④MaaSの導入等スマートシティの推進による移動円滑化

- AI（人工知能）や情報通信技術等の活用による、交通機関の乗り継ぎの円滑化により、シームレスな交通サービスの実現を図ります。

取組例

- 公共交通機関やパーソナルモビリティ等の新たなモビリティをワンストップで利用できる仕組みの構築【再掲】

⑤未整備都市計画道路の整備による交通ネットワークの形成

- 東口駅前の通過交通による渋滞の軽減等のため、寿町第二地下道（環状本町飯塚線）等、未整備の都市計画道路の整備を進めます。

取組例

- 六間通り線や環状道路、善光寺荒川線等、都市計画道路の街路事業等による拡幅整備

⑥まちづくりと連携した駐車場施策の促進

- 人口増減や交通手段のニーズ等に関する社会情勢の変化を踏まえながら、まちづくりと連携して駐車場の量と配置等の適正化を行います。

取組例

- ウォーカブルなまちづくりに資する一般駐車場や荷捌き駐車場の適正配置や、駐車場出入口の位置の誘導

都市景観・環境

5 本市の表玄関にふさわしい魅力ある景観形成と持続可能で環境に配慮したまちづくりの実現

- 本市の表玄関にふさわしいうるおいに溢れた魅力や落ち着きのある景観形成を図ります。
- 駅前や鉄道沿線については、人々を迎え入れ、新たなランドマークとなる魅力的な景観形成を図ります。
- また、持続可能で環境負荷低減に向けた取り組みを推進します。

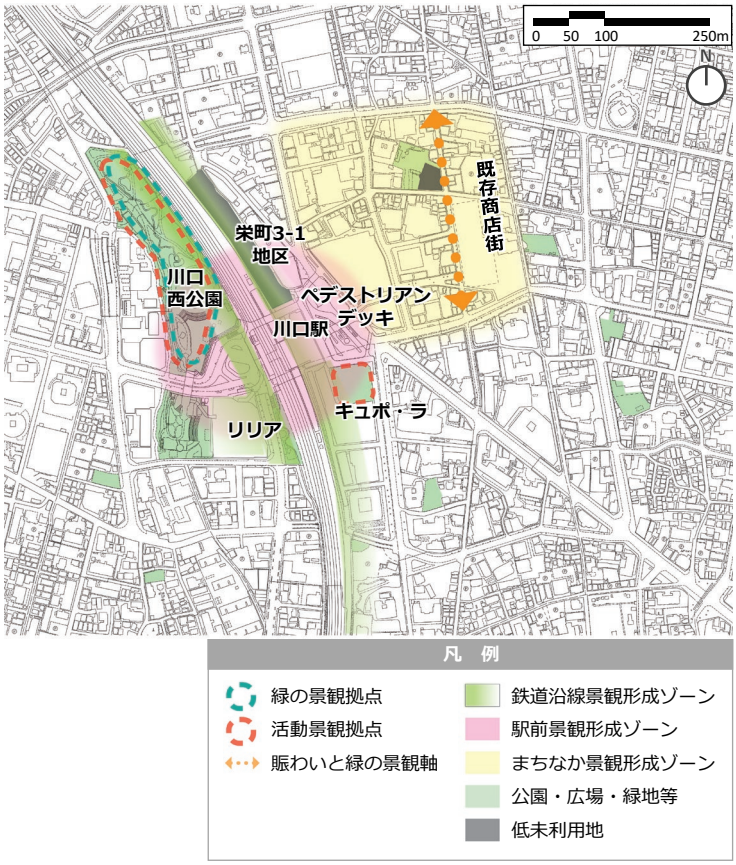
取組方針

①まちの顔となる駅前及び鉄道沿線の景観形成

- 駅前及び鉄道沿線において緑化の推進や景観に配慮した建築物の誘導等、市の表玄関として魅力的で特徴ある景観形成を図ります。

取組例

- 栄町３－１地区の公有地及びその周辺の再開発事業実施による駅前及び鉄道沿線の新たなランドマークとなる建築物の整備



②ゆとりとうるおいのある連続的な緑化空間の形成

- 緑の量と配置、樹種の選定等を適正に行い、居心地がよい緑陰空間を形成することで、日常的に立ち寄りたくなり、愛着がわく景観を形成します。
- また、デッキ上を活用した視点場等、緑や電車等の特徴的な景観を楽しむことができる空間形成を図ります。

取組例

- 川口西公園からペデストリアンデッキ、駅舎等をつなぐ連続的な緑化空間の形成
- 道路や公園、低未利用地等を活用した緑陰空間の創出【再掲】
- 道路内の緑地帯の形成
- 沿道の民地内における緑化の推進
- 安行植木の活用
- 電線類地中化

③沿道の賑わいと一体となった統一感と活気のある街路景観の創出

- 既存商店街付近等のまちなかにおいては、テーブルやイスの設置、緑陰空間の整備等を行い、賑わいや市民活動がまちなかに滲み出す街路景観の創出を目指します。

取組例

- 歩行者利便増進道路制度（ほこみち）を活用した沿道の賑わいの創出【再掲】

④環境負荷低減に向けた着実な取り組みの推進

- 再生可能エネルギーや建築物の省エネルギー化、木質化等により、ライフサイクルCO_2削減に配慮したまちづくりを推進します。

取組例

- 再開発事業等を契機とした省エネルギー性の高い建築物の誘導や木質化の促進
- 既存建築物の省エネルギー化の促進
- 再生可能エネルギーの利用の促進

防災

6 帰宅困難者対策や耐震化等ハード・ソフト両面での防災力の確保

- 災害発生時において多くの帰宅困難者が発生し、緊急輸送道路も近接する駅周辺は災害対応の観点から非常に重要な場所です。
- 駅周辺において災害時に迅速な対応を行えるようハード・ソフトの両面から防災力の向上を図ります。
- また、近年の災害の頻発化・激甚化を踏まえ、情報通信技術等を活用したより高度な災害対策を推進します。

取組方針

①帰宅困難者対策等の駅前拠点としての災害対応力の強化

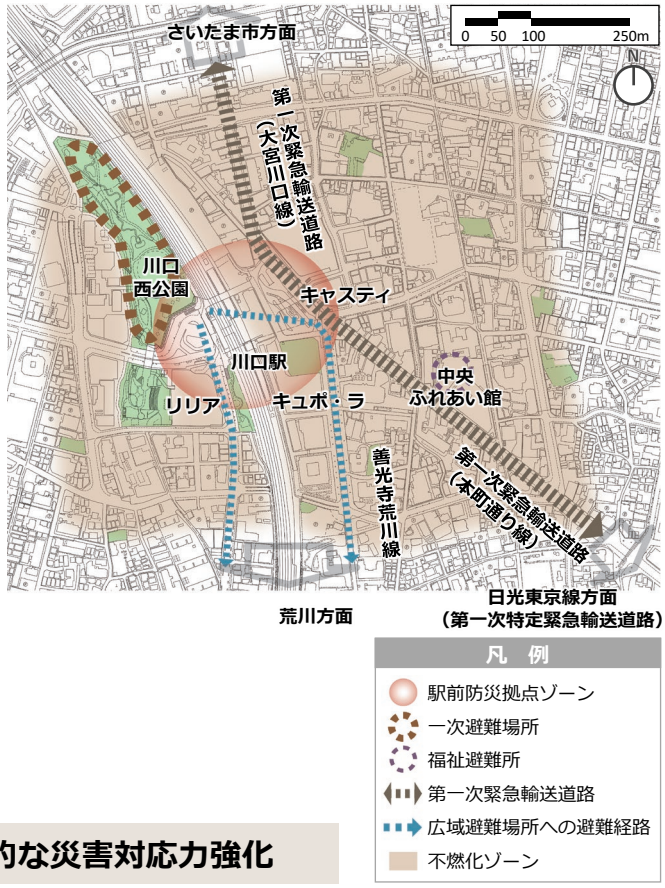
- 駅周辺においては、公共施設や周辺民間事業者と連携を図りながら、帰宅困難者用スペースの確保、防災備蓄倉庫等の整備を進め、駅前拠点としての災害対応力の強化を図ります。
- 荒川から近距離であることを踏まえ、水害の際に垂直避難ができる場所を確保します。

取組例

- 再開発事業等における帰宅困難者受け入れスペース・垂直避難場所や備蓄倉庫の整備
- 民間施設の共用部と連携した帰宅困難者受け入れスペース・垂直避難場所の確保

出典：内閣府・国土交通省（都市再生安全確保計画のワンポイント事例集・Q＆A集）

出典：内閣府（広報誌「ぼうさい」平成22年（2010年）9月号）



②防災上重要な緊急輸送道路等の機能確保による広域的な災害対応力強化

- 第一次緊急輸送道路である大宮川口線、本町通り線については、建物の更新・共同化の検討等の機会を捉えて、緊急輸送道路閉塞建築物への対応を進めます。
- 再開発事業を契機として、広域避難場所に指定されている荒川への避難経路である善光寺荒川線の道路拡幅を推進します。

取組例

- 電線類地中化【再掲】
- 緊急輸送道路沿道の閉塞建築物の耐震化の促進
- 善光寺荒川線の拡幅整備

③再開発事業等を契機とした不燃化・耐震化による災害に強い市街地形成

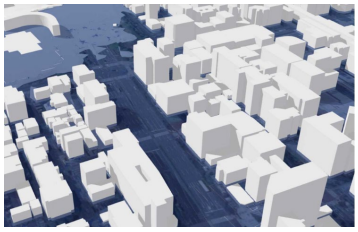
- 対象範囲内は人口や都市機能が集中しているとともに、一次避難場所や広域避難場所への避難経路として重要であるため、共同化等の機会を捉えて不燃化を推進し、災害に強い市街地形成を促進します。

取組例

- 耐震化や不燃化が必要な地区における再開発事業等の実施

④情報通信技術等を活用した防災性の向上

- 頻発化、激甚化する自然災害のリスクに対応するため、情報通信技術等を活用し、効果的な防災力向上を推進します。



出典：国土交通省（令和2年（2020年）12月22日報道発表資料「Map the New World. ～Project “PLATEAU” のティザーサイトをオープンします～」）

取組例

- 人の移動や被害状況をリアルタイムで収集、可視化できるシステムの構築
- 3D都市モデル等の技術を活用した災害予測

11 本ビジョンの実現に向けて

（1）実現に向けた方策

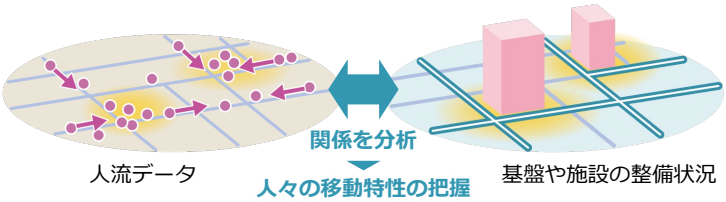
- 取組方針について、官民連携による検討体制の下、スマート・プランニング等により、市民ニーズを的確に踏まえて、具体的な計画策定等を進めていきます。

1．市民の移動特性・ニーズの的確な把握

①まちづくりの計画・整備段階

○人流等のデータに基づいた計画検討（スマート・プランニング）

- スマートフォンのGPSやWi-Fi等から取得された人流データをもとに、歩道等の基盤や施設の整備状況との関係を分析し、人々の移動特性を把握することで、基盤や施設の整備等による効果を予測し、計画策定に役立てていきます。



○VRによる計画案の可視化

- VR（VIRTUAL REALITY）により、基盤や施設の整備等に係る計画案を可視化し、計画案の問題点を早期に発見するとともに、市民の皆様より具体的な要望や意見を引き出していきます。

②都市空間の利活用段階

○社会実験等の試験的取り組みの導入

- 公園等のオープンスペースや歩道等の有効活用に向けて、キッチンカーやストリートファニチャーの設置、パーソナルモビリティ等の新たなモビリティの試運転等、試験的取り組みを行います。
- そこで得られた利用者の要望や人流データ等を踏まえるとともに、個人が特定できないようにした上で、当該データのオープンデータ化を推進することで、取り組みを改善し、恒常的な利活用を図ります。

出典：国土交通省（官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集）

2．官民連携による検討体制の構築

○関係主体によるワーキンググループの設置

- 優先的に取り組むプロジェクトごとに、地元住民や関係事業者等の関係主体によるワーキンググループを設置し、官民連携により、計画案の検討等を進めていきます。

1 市民の移動特性・ニーズの的確な把握

① まちづくりの計画・整備段階	② 都市空間の利活用段階
人流等のデータに基づいた計画検討	（人流等のデータに基づいた計画検討）
▼	▼
計画案策定	社会実験等の試験的取り組みの導入
▼	▼
ＶＲによる計画案の可視化	人流データ等を踏まえた取組の改善
▼	▼
市民の意見等の反映	都市空間の恒常的な利活用
▼	
成案化	

2 官民連携による検討体制の構築

関係主体によるワーキンググループの設置

（２）優先的に取り組むプロジェクト

- 本ビジョンを実現するにあたって緊急度と効果が高いプロジェクトを５つ設定し、優先的に実現に向けて取り組みます。
- なお、令和４年（2022年）度以降、検討の深度化を進め、本市の人口が増加傾向と推計されている約10年後までを目安に関係機関や関係権利者と協議を重ねながら、各プロジェクトの実現に向けた取り組みを進めていく予定です。

凡　例

- 主要な回遊動線（デッキレベル）
- 主要な回遊動線（地上レベル）
- ペデストリアンデッキ
- 都市機能
- 公園や広場等
- 公園や広場等（景観又は活動拠点）
- 低未利用地
- 交通軸
- 駅前広場
- 景観形成ゾーン
- 視点場
- 緊急輸送道路

Project 1　交通拠点リニューアルプロジェクト

駅前周辺の交通基盤の再編や駅機能の強化等、交通結節機能の充実を図るとともに、これからの働き方、暮らし方を先導し、市内各拠点に波及させるまちづくりを行います。

当該プロジェクトに関係する取組方針

【回遊性】
①雨に濡れずに快適に回遊できる空間の整備
②川口駅東口・西口間の回遊性の向上

【都市機能】
①多様な「働き方」や「暮らし方」を実現できる新たな都市機能の導入
④川口駅や周辺の既存資源を活用した都市機能の充実

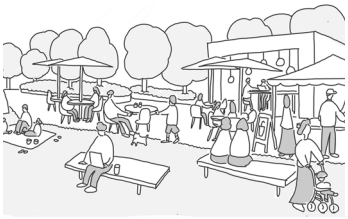
【交通】
①鉄道輸送力の増強
③駅前広場の交通結節機能の向上
⑥まちづくりと連携した駐車場施策の促進

【都市景観・環境】
①まちの顔となる駅前及び鉄道沿線の景観形成
②ゆとりとうるおいのある連続的な緑化空間の形成

【防災】
①帰宅困難者対策等の駅前拠点としての災害対応力の強化

Project 2 公園等リノベーションプロジェクト

多様なアクティビティや快適な滞在空間による賑わい創出のため、川口西公園や並木元町公園等において試験的な取り組みを行います。



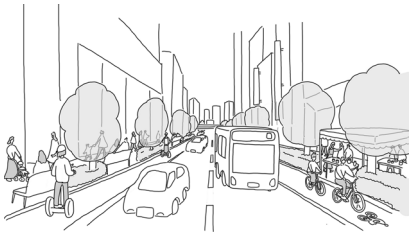
当該プロジェクトに関係する取組方針

【都市機能】
③生涯を通じて楽しく豊かな時間を過ごせる市民活動の場の創出

【オープンスペース】
①多様な活動を許容、誘発するためのオープンスペースの創出
②魅力的な外構・施設デザインによる訪れたくなるオープンスペースの創出
③持続的なオープンスペースの賑わい形成のためのエリアマネジメント体制の構築

Project 3 六間通り線機能・魅力向上プロジェクト

駅間を繋ぐ六間通り線の乗り継ぎ環境を改善するとともに、快適で魅力的な沿道空間を創出します。



当該プロジェクトに関係する取組方針

【回遊性】
③商店街と道路の一体的な利活用
④歩行者の移動の円滑化と気軽に休憩できるまちなかの緑陰空間の創出

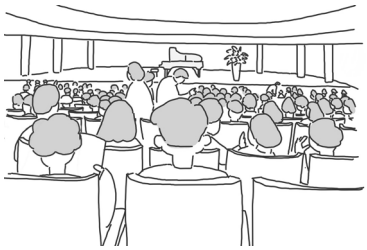
【交通】
②災害発生時等の備えとなる駅間移動の円滑化
⑤未整備都市計画道路の整備による交通ネットワークの形成

【都市景観・環境】
②ゆとりとうるおいのある連続的な緑化空間の形成
③沿道の賑わいと一体となった統一感と活気のある街路景観の創出

【防災】
②防災上重要な緊急輸送道路等の機能確保による広域的な災害対応力強化

Project 4 多目的文化芸術拠点整備プロジェクト

文化・芸術・コンベンション機能等を含む多目的文化芸術施設を整備します。
その実現にあたり、西口における文化施設のさらなる集積、東口の商店街等における賑わいの創出の観点から、適切な機能配置を図ります。



当該プロジェクトに関係する取組方針

【回遊性】
⑤多目的文化芸術施設へ誘うまちなかの空間演出

【都市機能】
②川口市の文化・芸術・産業を活かし育てるための場の創出
③生涯を通じて楽しく豊かな時間を過ごせる市民活動の場の創出
④川口駅や周辺の既存資源を活用した都市機能の充実

Project 5 まちなか再生プロジェクト

駅周辺の再開発等の推進により良好な住環境や居心地がよく歩きたくなるまちづくりを進め、まちなかの機能と賑わいの再生を行います。

当該プロジェクトに関係する取組方針

【回遊性】
④歩行者の移動の円滑化と気軽に休憩できるまちなかの緑陰空間の創出

【都市機能】
①多様な「働き方」や「暮らし方」を実現できる新たな都市機能の導入
④川口駅や周辺の既存資源を活用した都市機能の充実

【都市景観・環境】
②ゆとりとうるおいのある連続的な緑化空間の形成
④環境負荷低減に向けた着実な取り組みの推進

【防災】
②防災上重要な緊急輸送道路等の機能確保による広域的な災害対応力強化
③再開発事業等を契機とした不燃化・耐震化による災害に強い市街地形成

1．用語集（五十音順）

- 各種用語について一般的な意味を下表に記載します。

用語	説明
ウォーカブル	居心地が良く歩きたくなること。ウォーカブルなまちづくりを実現することで、人中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止ほか、様々な地域課題の解決や新たな価値の創造に繋がる。
駅まち（Eki-Machi）	「駅まち空間」とは、駅や駅前広場と一体的に、周辺市街地との関係も踏まえ、必要な機能の配置を検討することが期待される空間のこと。本ビジョンにおいては、対象範囲のことを「駅まち空間」と想定し、この範囲を「駅まち（Eki-Machi）」と呼ぶ。
エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組みのこと。
オープンスペース	公共的な屋外空間のこと。公園等の行政用地だけでなく、民間敷地内の広場等も含む概念。
オープンデータ化	国、地方公共団体及び事業者が保有するデータを、誰もが編集・加工等がしやすい形で、インターネットで公開すること。
持続可能な開発目標（SDGs）	2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。
ストリートファニチャー	歩道等に設置してあるベンチ等のこと。
スマートシティ	先進的技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、各種の課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出する取組のこと。
DX（Digital Transformation）	進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。
ニューノーマル	新型コロナ危機を契機とした人々の新しい生活様式のこと。
Park-PFI（公募設置管理制度）	飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度のこと。この制度により、公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図ることが期待されている。
パーソナルモビリティ	徒歩や自転車に代わり気楽に行動範囲が広がる一人乗りの電動キックボードや搭乗型移動支援ロボット等の乗り物のこと。
ビッグデータ	ICT（情報通信技術）の進展により生成・収集・蓄積等が可能・容易になる多種多量のデータのこと。この活用により、異変の察知や近未来の予測等を通じ、利用者個々のニーズに即したサービスの提供、業務運営の効率化や新産業の創出等が可能となる。
歩行者利便増進道路制度（ほこみち）	賑わいのある道路の構築のための道路の指定制度のこと。道路管理者が歩道の中に「歩行者の利便増進を図る空間」を定めることができ、その道路空間を活用する際には、必要となる道路占用許可が柔軟に認められる等の特例がある。
MaaS（Mobility as a Service）	地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

２．川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会 設置要綱

川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会設置要綱

（設置）
第１条　川口駅周辺まちづくりビジョンの策定に際し、専門的知見の活用や関係主体の合意形成等に資するため、川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

（所掌事務）
第２条　検討会は、川口駅周辺まちづくりビジョンの策定に関し必要な事項について検討する。

（構成員）
第３条　検討会は、専門知識を有する者、産業団体を代表する者、公共交通機関事業者を代表する者及び市職員のうちから市長が選任した者をもって構成する。
２　構成員の任期は、選任の日から令和４年３月３１日までとする。

（座長及び副座長）
第４条　検討会に、座長及び副座長を置き、構成員の互選によってこれを定める。
２　座長は、検討会の会務を総理する。
３　副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

（検討会の開催等）
第５条　検討会は、市が必要に応じて開催する。
２　検討会は、必要があると認めるときは、会議に構成員以外の者の出席を求めることができる。

（庶務）
第６条　検討会の庶務は、都市計画部都市交通対策室において処理する。

（会議の公開）
第７条　検討会は公開とする。
２　前項の規定にかかわらず、座長は検討会に諮り、会議を公開としないことができる。

（雑則）
第８条　この要綱に定めるもののほか、検討会の運営等に関し必要な事項は別に定める。

附　則
この要綱は、令和３年６月２日から施行する。

3．川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会 構成員

（令和4年（2022年）3月時点）

区分	種別	所属等	氏　名
委員	常任相談役	東洋大学学部長	坂村　健
		建築家・東京大学特別教授	隈　研吾
	学識経験者	日本大学教授	中村　英夫
		東京大学大学院准教授	樋野　公宏
		関西学院大学教授	山崎　亮
	商工関係	川口商工会議所名誉会頭	児玉　洋介
		川口商工会議所会頭	伊藤　光男
		川口商工会議所女性会会長	町田　治子
		川口商工会議所青年部会長	髙橋　英彰
		川口鋳物工業協同組合理事長	石川　義明
		川口市商店街連合会会長	田中　宣充
		鳩ヶ谷商工会会長	熊井　初雄
	交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社総合企画本部投資計画部担当部長	齊藤　誠
		東日本旅客鉄道株式会社大宮支社総務部企画室長	伊藤　滋
		国際興業株式会社運輸事業部運輸企画課長	小平　隆宏
		東武バスセントラル株式会社運輸統括部副部長	深津　光市
	川口市	副市長	清水　竹敏
		副市長	栗原　明宏
		市長室長	根岸　延好
		企画財政部長	小西　一功
		経済部長	野崎　豊
		建設部長	早川　英雄
		技監兼都市計画部長	川田　昌樹
		都市整備部長	大河原　勇
オブザーバー		政策審議員	川野　道広

事務局：都市計画部 都市交通対策室・都市計画課、都市整備部 再開発課

4．検討経緯

- 令和3年（2021年）7月に本検討会が設立され、川口駅周辺のまちづくりについて議論を開始しました。
- その後同年10月には、新型コロナ危機やデジタル化の急速な進展に対応した川口駅周辺のまちづくりの方向性について、常任相談役より講演をいただきました。
- その講演の内容も踏まえながら同年11月に第2回検討会を行い、本ビジョンの方向性についてとりまとめを行いました。
- 令和4年（2022年）2月にはパブリックコメントを実施するとともに、議会及び川口市都市計画審議会へ報告し、意見を反映した後、3月に実施した第3回検討会にて本ビジョンの最終確認を行い、公表に至りました。

令和3年度（2021年度）

川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会発足

7月　第1回検討会

開催日	会議名称	内容
令和3年（2021年）7月29日	第１回　川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会	・川口駅周辺の現状 ・社会情勢に対応したまちづくり ・川口駅周辺の課題 ・まちづくりの方向性（将来像） ・検討テーマ

10月　基調講演

開催日	会議名称	内容
令和3年（2021年）10月18日	川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会　基調講演（常任相談役による講演）	・新型コロナ危機やデジタル化の急速な進展に対応した川口駅周辺のまちづくりの方向性について

11月　第2回検討会

開催日	会議名称	内容
令和3年（2021年）11月15日	第２回　川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会	・川口駅周辺のポテンシャルと課題 ・実現したい将来の生活イメージ ・当地区のめざす方向性 ・分野ごとの取組方針

2月

パブリックコメント実施
令和４年（2022年）2月1日～3月2日

- 議会（都市基盤整備・防災力向上特別委員会）への報告
- 川口市都市計画審議会への報告

3月　第3回検討会

開催日	会議名称	内容
令和4年（2022年）3月23日	第３回　川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会	・パブリックコメント等における意見について ・川口駅周辺まちづくりビジョン（案）の修正内容について

川口駅周辺まちづくりビジョン策定・公表

川　　口　　市
048-258-1110（市役所代表）